

10 at
22 ISO'S
2022 BAR
sat Show

ピアノ
長濱
司



山口きずな音楽祭

歌の 大舞台

うた
ともしび



表現者・歌手・俳優
中井
智彦

おさとかえり
「中井 智彦」

中原中也そして、
亀淵友香さんの命日でもあるこの日。
しみりとした追悼ではなく、
ご縁のある ISO'S BAR を
「サーカス小屋」に見立て、
この日／この時間／この場所に、
中也を愛する方、亀淵さんを愛する方が集い、
新しい表現が生まれる。
「きずなの聖地」で歌を通じ、
お二人を偲び、心に灯火がともるような時間を、
一緒に。



【主催】
まつりサポーターズ
【協力】
ISO'S BAR
upcoming株式会社
山口きずな音楽祭プロジェクト
【後援】
公益財団法人山口市文化振興財団
中原中也記念館



山口きずな音楽祭

歌の 灯火

2022.10.22/土
お食事あります
ISO'S BAR

山口市湯田温泉4丁目2-27 TEL 083-921-4588

昼の部 | お食事開始 12:00
公演 13:00~14:00

夜の部 | お食事開始 18:00
公演 19:00~20:00

出演 | 中井 智彦
長濱 司 ピアノ
進行 山田香織

一部 | 「詩人・中原中也の世界～在りし日の歌～」
二部 | 歌の灯火(ライブ)

チケット | 昼の部/夜の部
全席指定 (お席は当日ご案内します)
7,000円
別途、お食事代 3,000円

お問い合わせ | ISO'S BAR
TEL 083-921-4588



中井 智彦

Nakai Tomohiko

表現者
歌手
俳優

神奈川県出身。東京藝術大学卒業。2007年「レ・ミゼラブル」で初舞台。2010年から5年間、劇団四季に所属。「美女と野獣」(野獣役)と『オペラ座の怪人』(ラウル役)はそれぞれ約500ステージをつとめる。艶のあるバリトンを持ち味にミュージカルや歌手活動をはじめ、最近ではラジオ番組のパーソナリティなど活躍の場を広げている。

近年の舞台出演作は『ビリー・エリオット～リトル・ダンサー～』(トニー役)、『ナイツ・テイル -騎士物語-』(ピリッス役/歌唱指導)など。2022年9月7日にはデビュー15周年を記念したCD『Singer Song Actor』をリリース。同月ライブツアーを東京・名古屋・大阪で開催。2023年3月～ミュージカル『ジェーン・エア』への出演を控える。

16年に自ら企画構成・演出・作曲を手がける舞台『詩人・中原中也の世界』を発表。翌年「山口きずな音楽祭VOL.9 中也を歌う」(山口市民会館)に出演。2019年10月22日は湯田温泉ISO'S BARにて『歌の灯火(おさとかえり「中井智彦」 Presented by 山口きずな音楽祭)を開催。赤田神社秋祭り「歌の奉納(2019、2021、2022年)」。また10月30日に宇部市渡辺翁記念会館にて『宇部音鑑創立40周年メモリアルコンサート』に出演予定。

●レギュラー出演:TOKYO FM(80.0FM)毎週月曜21:30~21:55「Welcome To The Theater Radio!」パーソナリティ
●雑誌連載:演劇・舞台情報フリーペーパー「ステージびあ」コラム「ミュージカルのススメ!」連載

公式ウェブサイト&ファンクラブ
<https://www.nakaitomohiko.jp>



1994年北海道生まれ。2016年国立音楽大学音楽学部演奏学科ジャズ専修卒業。大学在学中よりポップスやオーケストラの作編曲などの活動を始め、卒業後はミュージカルやポップスを中心に、様々なジャンルの作編曲・音楽監督・演奏・レコーディング等を行っている。主なミュージカル作品に「ネクスト・トゥ・ノーマル」「GREASE」「BKLYN」「I love you, you're perfect, now change」等。東京2020オリンピック・パラリンピック「ホストタウンハウス」プロジェクトにアレンジャーとして参加。『おさとかえり「中井智彦」 Presented by 山口きずな音楽祭』は2019年に続き、2回目の参加。

長濱 司 Nagahama Tsukasa

作編曲家・ピアニスト



1993年日本を代表するゴスペルグループThe Voices of Japan (VOJA) 発足。2008年「第1回 野口英世アフリカ賞」の授賞式および記念晩餐会にて、天皇皇后両陛下や歴代総理大臣、アフリカ各国の大統領や国王といった国賓の前で演奏。2009年より8年連続で、山口きずな音楽祭に出演し、楽曲「きずな」を山口クリスマス市に広める。2017年10月22日逝去。

亀渕 友香 Kamebuchi Yuka

日本のゴスペルシンガーの第一人者



1907年4月29日、山口市湯田温泉生まれ。小学校高学年より短歌を制作。文学に熱中するあまり山口中学校を落第し、京都の立命館中学へ転校。ダダイズムの詩を書き始め、富永太郎からフランス象徴詩を学ぶ。1925年に上京し、小林秀雄、河上徹太郎、大岡昇平らと交流しながら、詩や翻訳・評論を発表。生前の著作に第一詩集『山羊の歌』(1934年)の他、ランボオの翻訳詩集3冊がある。1937年10月22日、鎌倉で死去。享年30歳。翌年、友人たちの手で第二詩集『在りし日の歌』が刊行された。

詩人 中原 中也 Nakahara Chūya